

2020年11月4日  
東京大学教養学部学生自治会第141期公示第48号  
理事会文書第241号

東京大学総長選考会議  
議長 小宮山宏殿

東京大学教養学部学生自治会  
自治会長（代行） 権英里香  
副自治会長（代行） 松野大河

### 総長選挙に関して情報開示を求める自治委員会決議に基づく要求書

東京大学教養学部学生自治会（以下、本会）は、東京大学教養学部前期課程生の全員から構成される自治組織です。

先日、本会第141期自治委員会第1回会議において、本会会員より提出された「第16号議案 総長選挙に関して情報開示を求める自治委員会決議案」が審議され、可決されました。

当該議案書は、別添にてお送りします。

については、当該決議に基づき、本会は下記の通り求めます。

#### 記

第31代総長の選考に関して貴会が選考にあたり判断の材料とした一切の情報を公開し、既に公開されている情報を含む選考過程について、学生をはじめとした東大の全構成員による検証および議論に応じること。

以上



【東京大学教養学部学生自治会第 141 期自治委員会第 1 回会議議案書（抜粋）】  
（註：個人情報保護のため議案書の一部を黒塗りとしています。）  
（註：内容証明郵便のためフォントをMS 明朝 12 ポイントに差し替えています。）

#### 第 16 号議案 総長選挙に関して情報開示を求める決議案

##### 【本文】

本会は、自治委員会の議決に基づき、総長選考会議に対して次のとおり求める。

第 31 代総長の選考に関して貴会が選考にあたり判断の材料とした一切の情報を公開し、既に公開されている情報を含む選考過程について、学生をはじめとした東大の全構成員による検証および議論に応じること。

##### 【趣旨説明】

第 31 代総長の選考に関しては、学内から多くの疑問の声が上がっています。東大新聞でも次のとおり報じられています。

現職の五神真・第 30 代東大総長が選出された 2014 年の総長選考時には第 2 次候補者の氏名と経歴が決定翌日に東大ウェブサイト上でも公開されていたが、今年の選考では教職員向けの発表のみ。小宮山議長の名義で出された学内向けの通知では第 2 次候補者の氏名やその他の資料に関して「取扱いにご留意願います」と要望していることも明らかになった。田中教授はこの対応を「暗黙の箝口（かんこう）令だ」と批判。教職員にも正式には明かされていない第 1 次候補者の開示も含め、透明な議論を求めている。

（【速報・東大総長選考】議論の透明性に「待った」 総合文化・田中教授ら小宮山選考会議長に質問状、『東大新聞オンライン』、9 月 23 日）

総長選考会議に対してはその他にも様々な方面から意見書や質問書が提出されています。それらの多くが問題としていることは、

- ① 第 2 次候補者は全て理系の男性であり多様性がない。また第 1 次候補者のうち最有力と言われていた候補が除かれた。
- ② 第 2 次候補者は総長選考会議が 5 人まで推薦できるにもかかわらず 3 人しか推薦せず、その結果①のようになった。
- ③ ①、②の過程が不透明である。

の 3 点です。



